



かさおか



暑中お見舞い 申し上げます



「石の上にも三年?」

会長の奮闘記 その10

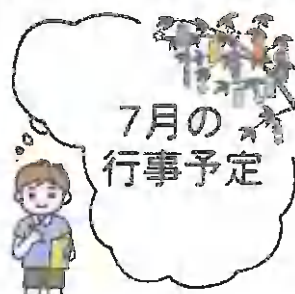
令和元年7月にまち協の事務所が移ってから三年目を迎えました。井戸会館は笠岡西地区コミュニティ推進協議会が笠岡市から指定管理を委託されており、私は令和元年8月から井戸会館館長を兼務しています。

いつもお世話になっているので「DIY」に挑戦、春先の強風で倒れていた掲示板の再生作業に取り掛かり、5月下旬の3日間程でベンチ付の掲示板に生まれ変わりました。

ベンチの土台はコンクリート製で、数年前に廃棄寸前だったものを再利用しましたが、出来上がりも上々でお知らせやポスターの掲示などに役立つものと思っています。

さて、依然として衰えない新型コロナウイルスの脅威、高齢者へのワクチン接種が始まりましたが、家族の予約を取るのも大変でした。何とか6月上旬に1回目を接種して、7月上旬に2回目を予定しています。が、このワクチン接種は「重症化予防、発症予防、感染予防」の効果が期待されており、みんなが早く普段の生活を取り戻せることを願っています。

- ・7月7日(水)14:30~
令和3年第2回福祉部会を予定
- ・7月14日(水)18:30~
令和3年第2回子育て部会を予定
- ・7月21日(水)14:30~
令和3年第2回くらし部会を予定



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地

「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日14時~17時

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	摘 要
食 糧 費	0	21,900	子どもふれあい祭り参加者用お菓子代
繰 出 金	0	0	
合 計	0	21,900	

※収入支出差引残額の346,992円を次年度に繰り越しました。

令和3年度活動計画

区 分	活 動 内 容
総 務 部 会	ワークショップを開催し、テーマを決めて地域の課題解決に取り組む。 講演会を開催してまちづくり活動の活性化を図る。
くらし部会	防災学習会を開催して自助・共助を培い、コロナ禍における災害発生に備える。 防災マップを活用し、地域座談会を開催して防災意識の高揚と被害の抑止に努める。
子育て部会	子どもふれあい祭りを開催し、昔遊びを通じて地域の絆を深める。 自転車前カゴの「ひまわりプレート」の普及を図り、子どもの見守り活動を推進する。
福祉部会	井戸会館を活用し、100歳体操や出前講座を開催して高齢者の福祉増進を図る。 事務所前の環境美化に取り組む。
文化部会	歴史冊子を活用し、研修会を実施して郷土への愛着心を養う。 小学4年生を対象に「笠岡の今と昔」の副読本を作成して地域学に役立てる。
広報部会	広報紙を発行してまちづくり協議会の活動を紹介する。
地区運営委員会	地域の課題解決に取り組みながら会員相互の親睦を図る。

令和3年度収支予算

笠岡市交付金分

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
笠 岡 市 交 付 金	1,978,000	運営交付金
そ の 他 収 入	0	
合 計	1,978,000	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
人 件 費	800,000	会長・事務主任報酬
管 理 費	754,000	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000 電気・水道代 96,000 その他事務用品・コピー代等 418,000
活 動 費	401,200	総会・役員会・部会の活動経費
予 備 費	22,800	
合 計	1,978,000	

事業会計分

【収入の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 越 金	346,992	前年度繰越金
合 計	346,992	

【支出の部】

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
繰 出 金	0	
合 計	0	

令和3年度通常総会は 書面会議にて開催

新型コロナウイルスが蔓延し、岡山県に緊急事態宣言が発令されたため、昨年に続いて本年度の総会も書面による議決をお願いしました。

その回答結果をまとめましたのでお知らせいたします。

委員総数82名、回答数64名、回答なし18名で、次の4議案が承認されました。

- ・第1号議案 令和2年度活動報告について
- ・第2号議案 令和2年度収支決算並びに監査報告について
- ・第3号議案 令和3年度活動計画(案)について
- ・第4号議案 令和3年度収支予算(案)について

令和2年度活動報告

事務局	開館日に会長と事務主任が常駐し、新型コロナの感染防止対策を実施しながら事務処理や来館者の応対等に携わりました。
総務部会	定期的に会議を開いて各部会や役員会の調整に努めましたが、新型コロナの感染防止対策による集会施設の使用制限を受けて6月の総会は書面による会議になりました。
くらし部会	市危機管理課と連携して防災マップを作成し各世帯に配付しました。また、第4回防災学習会を開いて自助・共助の力を培い、特にコロナ禍における災害対応について学びました。
子育て部会	小学校の1年生入学に合わせ、自転車前カゴの「ひまわりプレート」を保護者に配付して見守り活動の協力を呼びかけました。また、「第7回子どもふれあい祭り」を開催し、新型コロナの感染防止対策のもと親子が羽子板とプラ板作りを楽しんで親睦を深めました。
福祉部会	プランターに花を植えて事務所前の環境美化に取り組みました。また、集会室を活用して「いきいき100歳体操」や「スマホ教室」を開いて拠点づくりに努めました。
文化部会	平成31年3月に作成した「笠岡町の諸霊場マップ」の写真約200枚と解説を添えた写真展を開催しました。また、「笠岡の地震・日本の地震」の冊子を100部増版しました。
広報部会	コロナ禍にあって小・中学校や地域の行事が縮小や中止になり取材も少なくなったので「旧笠岡村地名考」をシリーズで紹介するなど広報紙の紙面を工夫しました。
地区運営委員会	コロナ禍のため各地区とも主な活動を見送りました。

令和2年度収支決算報告

「笠岡市交付金分」

【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
笠岡市交付金	2,294,000	2,294,000	運営交付金
繰入金	0	0	
合計	2,294,000	2,294,000	

【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
人件費	800,000	799,115	会長・事務主任報酬
管理費	730,000	781,897	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000、電気水道代 96,000 ノートパソコン更新 50,000、事務用コピー代他
活動費	737,600	706,923	総会・役員会・部会の活動経費
予備費	26,400	0	
合計	2,294,000	2,287,935	

※収入支出差引残額の6,065円は剰余金として市に返還しました。

「事業会計分」

【収入の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
繰越金	245,444	245,444	
売上金	0	111,220	冊子売上(笠岡の地震・日本の地震他)
その他収入	0	12,228	コピーサービス、利息等
合計	245,444	368,892	

「笠岡の地名」その④

(一) 西西の続き

八幡平は川辺屋北に含めており、八幡道ともいう。北の八幡宮へ通ずる。同社には◇北稻荷(行者堂) ◇六造稻荷 ◇和霊様 ◇堅牢地神尊などがある。

佛松山大仙院(大山宮)は橋野吉右衛門の二男政範が自分の土地の上に建てたことなど良く知られている。橋野家の屋号は伏見屋で本家は本伏見屋と称していた。

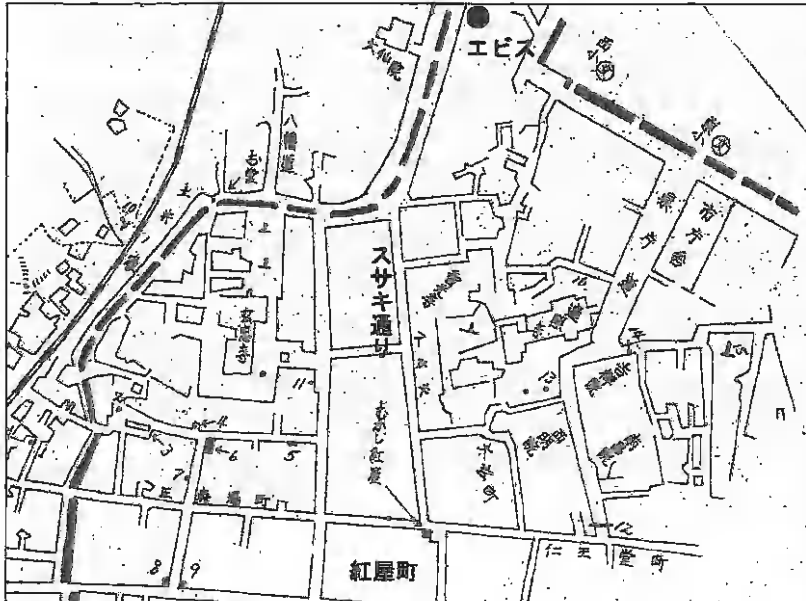
八幡道には新しい正統稻荷(旧三社稻荷=前は大仙院の横にあった)

(二) スサキ・仁王堂

洲崎と書こうが、スサキ通りとしようが、かまわない。それは公許(こうきょ: 役所が出す正式な許可)の字名でもなく、また町名統一の宣言もない、自然慣習的なものだから-と私は思います。スサキであったことは、今でも地面を掘ると、砂や貝の出ることから知られていますが、ここへまずできたのは寺院ではないかと思えます。

吉祥院の書き物には、1686年、遍照寺の土地が洲崎に九畝あり、十一棟の屋敷が建ち町人住すとあります。通りにある浄土宗の智光寺は山号を海照山といいますが、同寺住職によりますと、これはお寺が海近くにあったからだろう。慶長十九年、現在地へきたが、その前は西念寺と称し、西念寺町(八幡道付近)にあった。さらにその前は備後坪生の智光寺谷にあったといわれます。

元禄ごろ、スサキは浪崎町ともいわれました。文化七年の町屋舗名寄では二十軒の家が明らかにされています。胡(えびす)屋儀兵衛=エビギ四軒、胡屋治兵衛=エビジが三軒、石橋屋(丸山)久右衛門が二軒の屋敷をもっているのは、そのころの屋敷所有集中の一端といえましょう。洲崎だけでもエビス屋と称する家が五、六軒もあるのは面白い現象です。



昔は胡町というのがありました(笠映筋)も一つの胡町は、幕末から入戎(えびす)町ともいいました(スサキの南)それというのも、十字路付近にエビス様があったからです。その西筋(中央劇場筋)は紅屋(紅粉屋)町と呼び、角に紅屋(小間物屋、高田氏)がありました。同宅はその後、大熊氏、藤江氏と代替わりしています。

隅田川河畔、殿川筋の大仙院前に今、エビスがあります。その他合わせて六つのエビスがあり、戎屋(大和座もそういった時代がある)胡金、胡幣と市神(注)-エビス信仰の厚かったのを感じます。

入戎町の南東が十四軒町(西本町=両側に七軒ずつ)胡町のうち南が矢掛屋町。東北が大玄(たいけん)町。

(注)市神: 市の守り神として、市場の一隅に祀られる神のこと。【資料提供】笠岡史談「笠岡の地名」広沢澄郎氏

★「新しい生活様式」における熱中症予防のポイント★

① 適宜マスクをはずしましょう

- ・ 気温・湿度の高い中でのマスク着用は、要注意です。
- ・ 屋外で、人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクをはずす。
- ・ マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩をとる。

② 日頃から健康管理をしましょう

- ・ 日頃から体温測定、健康チェックをする。
- ・ 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養をする。

③ 暑さを避けましょう

- ・ エアコンを利用する等、部屋の温度を調整する。
- ・ 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整する。
- ・ 暑い日や時間帯は無理をしない。
- ・ 涼しい服装にする。

④ こまめに水分補給をしましょう

- ・ のどが渇く前に水分補給をする。
- ・ 1日あたり1.2リットルを目安に。
- ・ 大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに。

熱中症
予防

息苦しさを感じたら
人との間隔をあけて
マスクを外して休む



編集後記

新型コロナウイルスによって私たちの暮らし方が大きく変わり、まち協の総会も昨年に続いて書面会議になりました。“七夕”には、ワクチン接種が希望の灯になることを願い、暑さやコロナに負けない健康な体を作りましょう。I・M